

特集「並列処理」の編集にあたって

瀧 和 男†

今年も「並列処理」特集をお届けする。この特集には、JSPP'98 (Joint Symposium on Parallel Processing) で発表された論文および特集号論文として一般投稿された論文の中から、論文誌査読プロセスを経て採録されたものが収録されている。

「並列処理シンポジウム JSPP」は、昨年の JSPP'98 にて記念すべき 10 周年を迎え、石井光雄実行委員長 ((株) 富士通) のもと、1998 年 6 月 3~5 日に名古屋国際会議場で盛大に開催された。主催は、本学会の 5 研究会 (計算機アーキテクチャ、システムソフトウェアとオペレーティングシステム、アルゴリズム、プログラミング、ハイパフォーマンス・コンピューティングの各研究会)、電子情報通信学会の 2 研究会 (コンピュータシステム、データ工学の各研究会)、および、日本ソフトウェア科学会のオブジェクト指向コンピューティング研究会であり、さらに人工知能学会、日本応用数理学会、超並列計算研究会の協賛を受けた。並列処理研究 10 年の節目として、論文募集では従来からの分野に加えて実装や事例の論文投稿を促し、また 10 周年記念企画としては最優秀論文賞、ポスターセッション、ワークショップなど盛りだくさんの試みで盛況を博した。

前々回の並列処理特集号より、シンポジウムで発表されたものだけでなく、より広く並列処理関連の論文を対象として募集を行っている。今回も同様の方針で論文募集を呼びかけ、58 件の投稿をいただいた。サマータワークショップ SWoPP で報告された研究をはじめ、シンポジウムときにはポスター発表だった研究の論文投稿も見られた。

査読・編集にあたっては、前回より導入されているゲストエディタ制度、ならびにメタレビューア制度を利用した。特集号編集委員会の幹事、委員の方々 (文末に記載) には、メタレビューア制度に基づき、各々担当分野の論文を割り当てメタレビューアになっていた。メタレビューアが各々 2 名ずつの査読者を選定し、メタレビューア自身も査読を行い、1 論文 3 人の手厚い査読体制を敷くことができた。査読者の選定にあたっては、JSPP で発表された論文にはなるべく JSPP での査読者があたるように配慮した。特集号

編集委員の方々には、ひとかたならぬご苦勞をおかけしたが、約 6 カ月ですべての査読プロセスを滞りなく終了することができた。その結果、37 編の論文が採録となり本号に収録の運びとなった。

収録された論文は、並列処理アーキテクチャ、相互結合網、メモリシステム、並列言語と実装、並列化コンパイラ、スケジューラ、投機実行、並列処理応用、グローバルコンピューティング、クラスタコンピューティング、性能評価など、多岐に渡っている。ハードウェア関連の論文が 38% あるが、ソフトウェアとのバランスは良くなってきており、とくに並列処理応用の論文が 19% と増加傾向にある。実用レベルの並列処理がさらに発展してくれることを願うものである。

収録数 37 編というのは、私の知る限り並列処理特集号歴代最多の記録であり、誠に喜ばしいことである。いずれも内容の充実した論文揃いであり、並列処理研究この 10 年の厚みをひしひしと感じている。ここに収録されている最新の成果が、読者の方々の研究に役立ち、並列処理研究のますますの発展に寄与することを願ってやまない。すでに始まっている並列処理研究次の 10 年の新たな飛躍を祈念しつつ、並列処理特集号序文の結びとしたい。

最後に、論文募集、査読プロセス、編集の一連の作業でお世話になった特集号編集幹事の本多先生はじめ編集委員の皆様、査読者の皆様、論文誌編集委員会の皆様、学会事務局の皆様、その他お世話になったすべての皆様に心から感謝の意を表す。

なお、本特集はゲストエディタ制度により、以下の特集編集委員会の責任で編集を行った。

並列処理特集編集委員会 (順不同)

- 委員長：瀧 和男 (神戸大)
- 幹事：妹尾義樹 (NEC)、山名早人 (電総研)、本多弘樹 (電通大)
- 委員：朴 泰祐 (筑波大)、木村康則 (富士通)、中島 浩 (豊橋技科大)、石川 裕 (新情報)、浅野孝夫 (中央大)、石畑 清 (明治大)、佐藤三久 (新情報)、弓場敏嗣 (電通大)、喜連川優 (東大)、小野寺民也 (日本 IBM)

† 神戸大学工学部情報知能工学科